

Namibia 通信① 2021年12月7日

ボンサイ セ ダンキ

# Bonsai se Dankie

JICA 海外協力隊 2021年度1次隊

ナミビア 小学校教育

フルイット小学校 松下 歌歩

## ◎ナミビアからこんにちは!!

野芥小学校の皆さん、お久しぶりです。松下歌歩先生です。私は9月から南アフリカ地域の「ナミビア国」に JICA 海外協力隊として派遣されています。なぜ JICA 海外協力隊員になったかといいますと、小学校6年生の時、社会の授業で JICA 海外協力隊の活動について学習し、中学生の時に OB の方のお話を聞きました。子どもながらに「世界で活動してみたい。」「誰かの役に立ちたい。」「日本を代表して活動しているのは凄い。」と感じ、私の将来の夢の一つになりました。教師になってからも、この夢は捨てきれず、「世界に出たら、現地の方々の力になれるのはもちろん、帰国してから日本の子どもたちにも多くのことを伝えることができるのではないかと」と当時の私は考え、試験を受けました。合格してから COVID-19 の影響により派遣が延期になったり、国が変わったり等、様々な試練がありましたが、周りの方々の応援や支えがあって無事派遣されました。今は毎日楽しんで活動しています。ナミビアに派遣されて幸せだなと日々感じており、これから私の活動を野芥小学校の皆さん、日本の皆さんにお伝えしたいと思い、NAMIBIA 通信を定期的に発行していこうと考えました。読んでいただけると嬉しいです。



フルイット小学校の正門で記念写真。

## ◎ナミビア通信「Bonsai se Dankie」って何!?



私のナミビア通信名は、「Bonsai se Dankie」です。「Bosnai」とは「盆栽」のことです。ある日、勤務校の VOORUIT (フルイット) 小学校の先生に、「歌歩、『ぼんざい』って知ってる?」と聞かれ、始めは何のことだか分かりませんでした。が、「小さな木だよ!」と言われ、盆栽のことだと気付きました。「盆栽は、小さくて強くて綺麗。まるであなたのようなね!!」と言われ、その日から私のニックネームは「Bonsai」になりました。自分でも気に入っています。私の学校は「アフリカンス語」と「英語」のクラスがあり、子どもたちはどちらの言語も話すことができます。アフリカンス語で「se」は「言う」、「Dankie」は「ありがとう」という意味です。つまり、「盆栽がありがとうと言う」という意味の通信名です。周りの方々への感謝の気持ちを通信名に込めました。

## ◎「ナミビア」ってどんな国?

ナミビアは広大な自然に恵まれた美しい国です。都市は発展していて、ほとんどの物資が手に入ります。

面積: 82.4 万平方キロメートル (日本の約 2.2 倍)

人口: 約 254.1 万人 (福岡県は約 510 万人)

⇒人口密度が低い!!

首都: ウィントフック

言語: 英語 (公用語), アフリカンス, 多くの

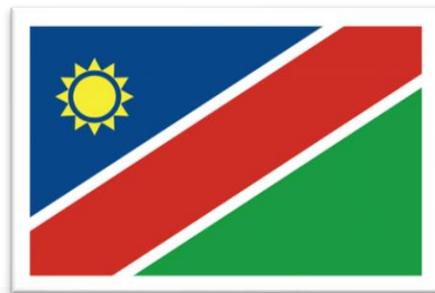
部族語 (ダマラ, ヘレロ, オバンゴ, カバンゴ等)

⇒多言語, 他民族国家

宗教: キリスト教, 伝統宗教

主要産業: 農業, 鉱業, 漁業, 流通

お寿司



都市のスーパーマーケット

\* 国旗の意味 \*

青: 希望, 大西洋の恵み

赤: 独立の闘争で流れた血

緑: 緑豊かな国土, 農業

白: 繁栄, 平和

輝く太陽の光線: 12の主な部族